

あしがき

うつのみやだいがく ハンズ せいしきめいしやう へいせい ねんどもんぶかがくしやうとくべつ
宇都宮大学HANDSプロジェクト（正式名称：平成22年度文部科学省特別
けいひ かいしゃがい たいおう じんざいしやうせい ちいきこうけん
経費プロジェクト「グローバル化社会に対応する人材養成と地域貢献—
たぶんかきやうせいしやかいじつげん む がいこくじんじどうせいときやういく きやういく
多文化共生社会実現に向けた外国人児童生徒教育・グローバル教育の
すいしん—」は、この4月より、がいこくじんじどうせいときやういく きやういく すいしん
推進—」は、この4月より、外国人児童生徒教育とグローバル教育の推進
に向けた事業について話し合いを重ねてきました。これまでに実施したも
のとしては、「グローバル教育セミナー」（7月3日）、「多文化共生に
かん しみんこうざ たいげんご こうこうしんがく
関する市民講座」（10月18日）、「多言語による高校進学ガイダンス」（10
月24日）などがあります。

HANDS プロジェクトには、こくさいがくぶたぶんかこうきやうけん きやういくがくぶ
国際学部多文化公共圏センターと教育学部
きやういくじつせんそうごう しよぞく ふくすう きやういん
教育実践総合センターに所属する複数の教員とコーディネータが参加し
ています。プロジェクト・メンバーが様々な事業を直接担っていくことが
いちばんおお かがい いっぽう
一番大きな課題ですが、一方で、HANDS プロジェクトは、がいこくじんじどうせいと
きやういく きやういくすいしん じぎやう と く きやういん
教育やグローバル教育推進の事業に取り組んでいる様々な関係者を「つ
なぐ」ための拠点になりたいと思っています。「HANDS」プロジェクトと命名
したのも、そんなおもいがつよ かんけい
そんな想いが強く関係しています。

HANDS プロジェクトの前身は、ぜんしん じゆうてんすいしんけんきやう へいせい ねんど ねんど
重点推進研究（平成19年度から21年度）
というものでした。うつのみやだいがく ご まな がくせい
宇都宮大学でタイ語を学んだ学生たちが「デスク学習
しつ じん こどもたち べんきやう おし いぜん し
室」でタイ人の子どもたちに勉強を教えていることは以前から知っていま
したが、じゆうてんすいしんけんきやう こうはんき いずみだ せんせい がくせい いっしょ
重点推進研究の後半期に、泉田スズダ先生と学生と一緒に
なつて ちゆうがくきやうかしょ ごたんごちやう きくせい と く
中学教科書のタイ語単語帳の作成に取り組んでいるということを知
りました。ちゆうしんてき さぎやう まつやままいこ なんにん がくせい
中心的に作業をしていた松山舞子さんら何人かの学生がたまた
ま自分の研究室に所属していたので、なにかの折に話が出たのだと思いま
す。いちど すこくわ はなし き きかい
一度、少し詳しい話を聞く機会があつて、大変な作業をしているなど

思うとともに、この単語帳の刊行に協力できないかと強く思いました。日本語を母語としない子どもたちによって、生活言語を覚えることはそれほど難しいことではないけれども、学習言語を覚えることはとても難しい、というところどころで指摘されています。何十年ぶりに?? 中学校の教科書(理科、数学、地理)を見てみましたが、確かに、とても難しい(難しすぎる!)というのが実感。単語が並んでいます。このような単語帳が子どもたちの勉強にとっても役立つことを確信しました。

泉田先生と何度か、この単語帳を刊行するまでの準備作業やスケジュールなどについて話し合いました。HANDS プロジェクトが主に行なったことは、内容に関するアドバイス、編集作業、そして、「早く出そう!!」の叱咤激励だったと思います。「デック学習室」を通じた地道な活動および泉田先生の大変なご苦労と学生たちの頑張りが、このような形になって発信出来ることを大変嬉しく思っています。

このような単語帳の他の言語版があれば、多くの子どもたちの勉強が大いに進むことは間違いないでしょう。ただ、この単語帳作成に関係者が注いだ膨大な時間とエネルギーの一端を見ただけでも、このような単語帳を作成・刊行することは非常に大変だということがわかります。HANDS プロジェクトとしては、様々な関係者を「つなぐ」拠点としての役割を担いながら、多くの声に耳を傾けつつ、どのような事業を行なっていくべきかについてさらに考えていきたいと思っています。

けんきゅうだいひょう
研究代表:

こくさいがくぶ たまき まつお
国際学部 田巻 松雄